

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	下水道課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力				
分野別方針	(8) 公共下水道の整備と管理		実施計画事業	1) 公共下水道事業(No.42)				
予算等事業名	公共下水道整備事業							
目的	公共下水道整備事業は計画的な整備を実施、公共用水域の水質改善を図ります。							
内容	山西汚水幹線および枝線整備(山西・百合が丘)を実施。 雨水幹線整備(北新道地区)を実施する。							
根拠法令・条例等	都市計画法・下水道法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	—				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	整備率				
前期(27年度)目標値	397.0ha			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—	
	373.2ha				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		238,624	235,137				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金	95,800	95,800				
	県支出金						
	その他	142,824	139,337				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 住民生活の基盤整備の一部であり、公共水域の水質改善を図るため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 公共下水道処理等に関連する神奈川県や近隣市町と連携を図る必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 下水道整備により、各家庭の排水設備の接続率が向上している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 工事発注においては、コスト低減等の工夫を図っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 事業認可における、整備目標に向け効率の良い整備推進を図り、町民の意識が公共水域の改善につながっている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後の整備拡大区域については、整備方法等や経済性及び事業効果向上について更なる検討を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	公共下水道は快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全や浸水対策といった重要な役割をはたしているため、事業を引き継ぎ実施していく。		
今後の方向性	今後、市街化調整区域の排水処理方法について検討し方向性をだす必要がある。		